

## 学校と連携する

学校における防災教育の背景	<p>文部科学省では、平成21年4月から「学校保健安全法」を施行しており、「地域の安全を確保するための活動を行う団体、その他の関係団体、当該地域の住民その他の関係者との連携を図るよう努めるものとする。」という条文を掲げ、学校の安全確保に努めています。</p> <p>また、広島県では平成26年8月に発生した土砂災害等を踏まえ、災害から命を守るために適切な行動をとることができるよう、広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動を展開しています。学校においても防災教室を行うなど、減災に対する取組みを進めています。</p>
お問い合わせ	●活動の相談：広島県自主防災アドバイザー制度（消防保安課：082-513-2790）

「地域と学校が連携した取組み」が推進されています。地域から積極的に声をかけてみましょう！

### STEP 1 学校責任者に声をかけます

校長先生や教頭先生など、まずは学校の責任者に声をかけてみましょう。地域行事などで接点がある場合は、より話を進めやすくなります。

### STEP 2 どのような連携が可能か話し合います

地域と学校が連携していくために、どのような取組みが可能か、よく話し合みましょう。学校行事、地域行事など、あらかじめ決められている行事を、うまく活用してみましょう。

### STEP 3 連携した取組みを実施します

話し合いの結果を基に取組みを計画し、実施していきましょう。



#### 活動のポイント

- 地域行事や防犯の見回りなど、学校と地域の日頃からのつながりを大切におきましょう。
- 学校では年間行事が決められています。実施できる時期、参加可能な生徒数を学校とよく話し合い、無理のない活動を実施しましょう。まずは学校の避難訓練を活用してみましょう。
- 連携体制や、話し合いの内容は記録しておきましょう。学校や地域の担当者が変わるときに、引継ぎが円滑になります。

## 中学校と連携した防災教育

実施地域	三原市 中之町下町内会防災会
実施日	平成25年10月10日
対象	三原市立第二中学校 1年生（144名）
実施概要	生徒の災害時における「主体的に行動する態度」の育成に向けて、中学校体育館が避難所として開設されたことを想定した防災学習と、地域住民と協力した避難所の運営体験を実施した。

### 実施内容

時間	項目	活動写真
9:45~10:00 (15分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 開会挨拶</li> <li>• 講師紹介</li> <li>• 実施内容の説明</li> </ul>	
10:00~10:05 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 中学校付近を流れる川の増水映像による災害イメージの共有</li> </ul>	
10:05~11:45 (100分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域住民を避難者に見立てた避難所運営ゲームの実施</li> </ul>	
11:45~12:00 (15分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 避難物資の配給</li> <li>• 非常食の試食</li> </ul>	
12:00~12:15 (15分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本日のまとめ</li> <li>• 閉会挨拶</li> </ul>	

#### 実施の効果

- 生徒が体験した内容を家庭で話し、家族で防災を考えるきっかけとなった。
- 地域住民と避難所となる学校の生徒が交流したことにより、災害時も円滑な連携が期待できる。



#### 活動メモ

##### 【活動で困ること】

- ① 学校行事が多く、取組みを実施しにくい。
- ② 校長先生や自主防災組織の会長が交代して、活動が白紙に戻ってしまった。

##### 【改善案】

- ① 改めて防災学習の時間を取り、全校生徒を出席させることは非常に困難です。まずは、学年やクラスを絞り、学校の避難訓練を活用するなど、小さな単位や短い時間で少しずつ実施していきましょう。
- ② 学校の先生、自主防災組織の会長それぞれに任期があります。役員などが交代しても継続して実施することができるよう、話し合いや実施の内容をきちんと記録しておきましょう。